

換気設備設置工事チェックシート

以下の枠内に必要事項を記入してください。

1	換気方式等	以下に掲げる事項について、該当する場合には確認欄に 印を付してください。	
	確認事項		確認欄
	[設置要件] 次の から までに掲げるすべての基準に適合している。 住宅のすべての居室の全般換気が可能な機械換気設備で、連続運転が可能なものを設置。 住宅のすべての居室に給気口を設置。 住宅のすべての居室に排気口を設置。(給気口から排気口に至る経路上の出入口のドアにアンダーカット、ガラリその他これらと同等の措置でも可)		
	[換気方式] 次の から までに掲げるいずれかの方式を採用している。(については、RC造住宅、SRC造住宅又は組積造住宅の場合のみ) 第1種換気方式(給気及び排気をファンにより強制的に行うもの) 第2種換気方式(給気のみをファンにより強制的に行うもの) 第3種換気方式(排気のみをファンにより強制的に行うもの)		
2	換気回数	以下の ー 部分に数値を記入し、表の確認欄には該当するものに 印を付してください。	
* なお、下記によらず、搬送部材及び端末換気口による圧力損失の影響を勘案した有効換気量により換気回数を算出した場合は、別途計算資料を添付してください。			
	[住宅の気積]	$A = \underline{\hspace{2cm}} \text{ m}^3$	
* 気積は次の方法により算出してください。			
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> 床面積の合計 m^2 × 2.5m = 住宅の気積 m^3 </div>			
なお、次の部分は床面積の合計から除外できます。 (1) 熱的境界(断熱材施工部位)の外にある空間(車庫、物置等) (2) 熱的境界(断熱材施工部位)の中にある空間のうち、日常使用されない小屋裏部屋・地下室等(局所換気設備を有するもの)の空間 上式によらず、気積を実測する場合には、別途計算資料を添付してください。			
	[換気設備の換気風量]	$Q_x = \underline{\hspace{2cm}} \text{ m}^3/\text{時}$	
* 複数の換気設備を設置する場合は、換気風量の合計を記載してください。			
* 換気風量は換気ユニット特性を表すP-Q曲線において、締切静圧(Pmax)の1/3の静圧時の風量 P-Q曲線図は、各換気設備機器メーカーに問い合わせの上、御確認ください。			
	[換気回数]	$n = Q_x / A = \underline{\hspace{1cm}} / \underline{\hspace{1cm}} = \underline{\hspace{1cm}} \text{ 回/時}$	必要換気回数
* 換気回数は、下表に掲げる住宅の相当隙間面積ごとに定めた必要換気回数の欄に掲げる数値以上を満たしていることが条件となります。			
	相当隙間面積(単位 cm^2/m^2)	必要換気回数	確認欄
2 以下	省エネルギー住宅(次世代型)割増における断熱地域区分又は地域(市町村区分)に建設する住宅で当該割増融資を利用するもの 公庫監修の工事共通仕様書に記載の「省エネルギー住宅工事(次世代型)の仕様」に含まれている「断熱地域区分又は地域(市町村区分)に建設する場合の気密仕様」に基づいて建設するもの 鉄筋コンクリート造の住宅 その他の気密仕様によって相当隙間面積2以下とするもの	0.4回/時	
2 超	上記以外とするもの	0.3回/時	

(参考)

<p>住宅の気積の概念図</p> <p> 熱的境界(断熱材施工部位) 気積(計画換気がなされる空間) </p>	<p>換気設備の換気風量</p> <p style="text-align: center;">静圧 [P-Q曲線図]</p> <p style="text-align: center;">Q_x 風量 換気設備の換気風量</p>
---	---